

中名田小学校は、市の南西部に位置し、市の中心部から約1.4Km離れた所にある全校児童数21名の学校です。周りを山に囲まれた自然豊かな地域で、北には飯盛山、東には校区内最高峰の檜山がそびえています。古くから、行者講、松上げ、六歳念仏といった伝統行事も伝わっており、神社仏閣が多く点在するところから、「神仏習合の里」としても知られています。学校の前には、南川の支流である田村川が東西に流れており、春には目を見張る桜をはじめ四季折々の美しい花を眺めながら、児童は地域の方々の温かい支えのもと、毎日元気に学校生活を送っています。



本校は、令和5年度の学校教育目標を「豊かな人間性を持ち、未来を創造する児童の育成」と設定し、「教育は人づくり」の理念のもと、地域の担い手である児童の育成に職員一同全力で取り組みます。また、学校教育方針や家庭や地域の子どもの教育に対する思いや願いを互いに共有し、チーム中名田として学校教育目標の具現化に向けた教育活動を推進していきます。



さらに、本年度は今まで以上に地域の協力と支援をいただきながら、多くの地域資源を積極的に活用した「ふるさと学習」に取り組み、ふるさとに愛着と誇りの持てる中名田っ子の育成に取り組んでいきます。